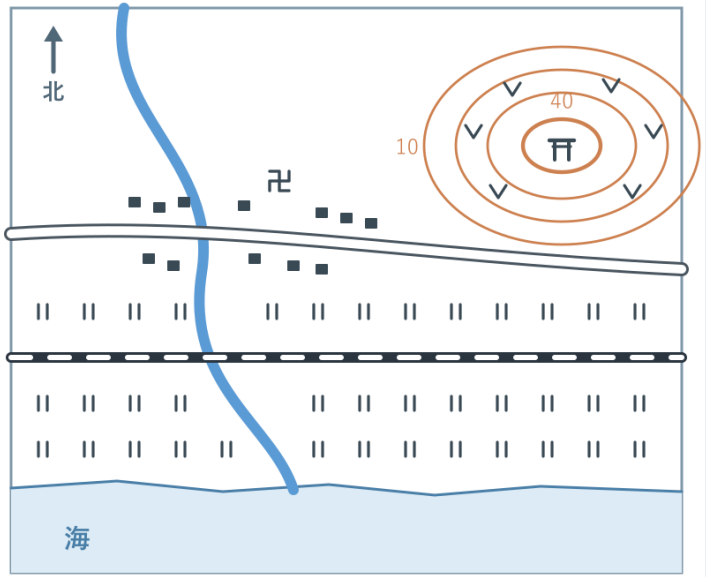
# 新旧の地形図で読む町の変化（架空の町）

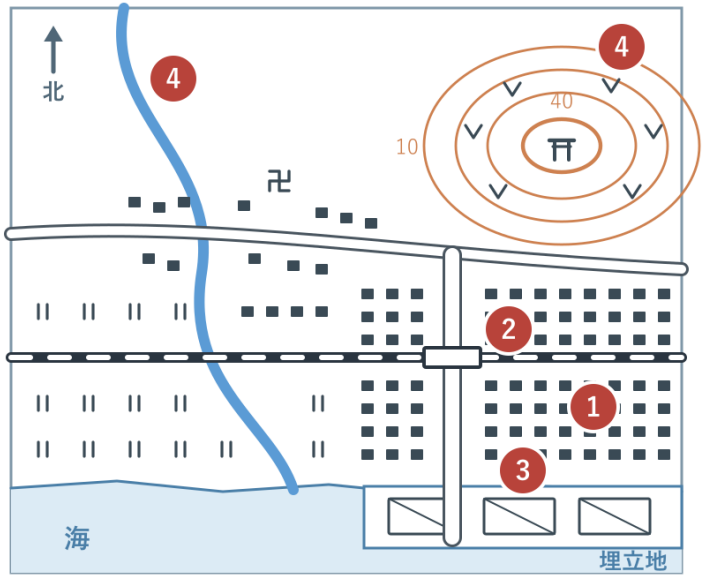
同じ場所の古い地形図と新しい地形図を比べると、何がわかるか

## 約50年前の地形図

同じ範囲・同じ縮尺




## 今の地形図




田　畑　建物　神社　寺院　鉄道（JR線）　駅　道路　川　等高線（10mごと）

## 右の地図で読む変化

**1 田が住宅地に**

駅の近くの田に、
建物が並んだ。

**2 新しい駅と広い道路**

線路はあったが、駅と
南北の広い道ができた。

**3 海岸の埋め立て**

海だった所に、まっすぐな
岸の平らな土地ができた。

**4 変わらない物**

神社・寺・川・昔からの道。
2枚を合わせる目印になる。

## 新旧の地形図の比べ方

**1 範囲をそろえる**
変わらない川や神社を
目印に、同じ所を見る

→

**2 変化に印を付ける**
土地利用・交通・
海岸線の変化を探す

→

**3 変わらない物も見る**
残った道や寺から、
昔の町の中心を知る

→

**4 変化の理由を考える**
駅ができた→住宅が
増えた、などと結ぶ

※ 架空の町の模式図。記号は今の国土地理院の地図記号で描いた。実際の古い地形図には、今は使わない記号もある。